

関東学院大学 社会学部 アドベント企画 ～多文化共生と私たちができること～

2017年の4月、「多文化共生・地域連携センター」が発足しました。最近よく耳にするようになった言葉「多文化共生」——異なる人種、国籍、文化をもつ一人ひとりが違いを認め合い共存していくことは、当然のこのように聞こえます。では、私たちは本当にお互いが認め合い、共生・共存している社会に暮らしているのでしょうか。センター発足から8ヶ月、あらためて身近な問題として「多文化共生」について考えます。クリスチャンの人々が待ち望むアドベント～キリストの到来～になぞらえて、私たちが待ち望む「共生・共存」の社会はどのような姿をしているのでしょうか。また、そのために私たち一人ひとりができることはあるのでしょうか。

2017年12月14日(木) K-311

プログラム

13:15～13:25 ○開会あいさつ
大澤善信 関東学院大学 社会学部長

13:25～14:40 ○第1部講演会
「講師による体験談～苦悩と希望～」
ミュージシャン 矢野デイビット氏

14:40～15:10 ○第2部トークセッション
「ガーナの映像資料を交えて～ガーナ支援のきっかけや活動紹介から学生ができる国際貢献を考えよう～」
ミュージシャン 矢野デイビット氏
関東学院大学教授 山口稔
助手 野田有紀

15:10～15:20 ○学生・市民による質問タイム

15:20～15:30 ○閉会あいさつ
齋藤貞夫 関東学院大学 多文化共生・地域連携センター運営委員長・客員教授

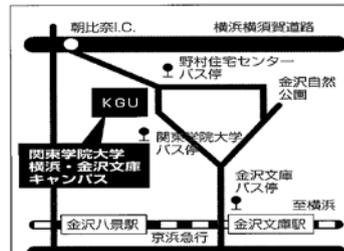


矢野デイビット・・・日本人の父とガーナ人の母との間に生まれ、6歳のときに日本に移住。18歳まで児童養護施設で育つ。現在、ミュージシャンとしての活動のほかにガーナでの教育活動に取り組んでいる。

日時：2017年12月14日(木) 13:15～15:30
場所：関東学院大学 金沢文庫キャンパス K-311
申込み：学生不要・市民の方は要事前申込み(先着100名)
費用：無料

問合せ：関東学院大学 多文化共生・地域連携センター(服部)

TEL: 045-786-8979 Mail: 2017adovent.kantogakuin@gmail.com



主催：関東学院大学 多文化共生・地域連携センター